

学校給食における地場産物等活用の促進

事業実施主体：湯前町（熊本県）

- 湯前町は、少子高齢化と過疎による人口減少が大きな課題となっており、小中一貫教育の推進と地域と学校の協働連携を推進している。
- このため、町内における食育及び地産地消を推進するため、町内で生産される野菜等の農産物を活用した試食メニューを学校給食で提供するとともに、食育授業等を実施し、地場産物の理解の深化と地域作物の消費拡大を図っている。

熊本県



湯前町

【取組の内容】

- 湯前産米「ぴかまる」や湯前町で生産される野菜・果物を活用した試食メニューを提供。
- 湯前小学校・湯前中学校の全クラスに対し、栄養教諭による食育授業を実施（「ぴかまる」や野菜等地元産食材の紹介、地産地消の重要性等について説明。）。



地元食材を使用した
試食メニュー



栄養教諭による食育授業
（湯前中学校）

【取組の成果】

- 湯前産農産物を活用した試食メニューの提供及び食育授業の実施をしたことにより、食材に対して、子どもたちから「どこでとれたもの？」、「この品種は何？」等の質問が多く聞かれるようになり、地場産物への関心が高まった。

【事業の目標】

① 学校給食における地場産物活用回数

事業実施前 44回
→事業実施後 88回

【目標達成率：100.0 %】

② 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合

事業実施前 74.8%
→事業実施後 99.6%

【目標達成率：129.6 %】

